

- それでは、挨拶から始めましょう。桜っ子の皆さん、
「こんにちは。」
- 早いもので、あと2日で3月、「令和5年度」の最後の月となります。
6年生は、卒業式まで、桜川小に登校するのはあとわずか16日です。その他の学年もあと19日の登校で次の学年に進級します。6年生は小学校生活の総まとめ、他の学年の人たちは学年の総まとめをする大切な時期ですね。ぜひ、一日一日を大切に、自分自身の頑張りや成長を振り返ってください。
- さて、卒業・入学や進級など、もうすぐ年度が改まって、4月からそれぞれの新しい生活が始まります。このようなタイミングのことを「節目」と言ったりしますが、今日は、この「節目」について、お話をします。
- 改めて、「節目」を国語辞典で調べてみると、「木材、竹などの節のあるところ。また、物事の区切りとなるところ」と載っています。
- この写真を見てください。これは竹の木がたくさん植わっている林の写真です。この竹の木の少し黒っぽくなっている節のあるところ、それが「節目」です。
- この写真のように、空に向かってまっすぐにすくすくと育つ「竹」は、よく子供たちに例えられます。皆さんも今まさに、「竹」のようにすくすくと育っていますよね。
- 実は、この竹は、節目では伸びが遅くなります。それは節を作っているからです。節が出来上がるとまた、すくすくと伸びていきます。このようにできていく節目は見た目の美しさと同時に、竹の木の強さにも影響を与えます。竹がこんなに高くまっすぐなのに、強い風が吹いても決して折れることがないのは、たくさんの節目があるからです。

○「竹の成長」は人の生き方や人生にも例えられます。人生のいろいろな区切りのタイミングで「節目」という言葉が使われるのも、そのためです。

○節目が丈夫でしっかりした竹はよく伸びると言われます。

卒業・入学、進級などが控えるこれからの時期、

「節目」がしっかりとしたものになるよう、

特に、6年生にとっては、これから進学する中学校でもしっかりと伸びていけるように、強くしっかりとした節目となるように、1日1日を大切にしながらも、焦ることなくじっくりと「1年間のまとめ」をしていきましょう。

○最後に、明日の6年生を送る会についてお話をします。数年ぶりに、全校の桜っ子が体育館に集まった形で行われる「送る会」、校長先生もとても楽しみです。

○3学期の始業式に「つなぐ」という言葉を合言葉にしたいとお話ししたと思いますが、明日の送る会では、卒業生、在校生それぞれが想いを「つなぎ合って」素敵な会にしてほしいと思います。

○それでは、残り少ない「令和5年度」の日々も、みんなで頑張っていきましょう。

○お話を終わりにします。